



CLOSE UP VOICE

株式会社 道の駅とよはし  
 駅長 白井 章雄 さん

多彩な豊かさを発信する  
 豊橋のランドマークに

3年ぶりとなる行動制限のない夏を迎え、観光業も活気を取り戻しつつある。車での旅で欠かせないのが地元の新鮮な野菜や特産品を販売する道の駅だ。道の駅とよはしは創設から4年目となり、当初から多様で意欲的な取組みを実施し、市内外に向けて豊橋の魅力を発信している。隣接する国道23号バイパス全線開通を令和6年に控え、転機を控えた道の駅とよはしが描く未来のビジョンを伺った。

農業や観光など、豊橋の魅力全てをお届け！

——貴社の事業内容を教えてください。

白井▼「株式会社道の駅とよはし」は、2019年5月にオープンいたしました「道の駅とよはし」の指定管理者として、豊橋市の仕様書に基づき、観光施設の運営管理・テナント管理・観光施設土産品の販売などを手がけております。

ランドマークとして、より多くの地方の人々にご利用いただき、豊橋が育てる色とりどりの豊かさを広くPRすることを目指しています。

——開駅以来、次々と意欲的な試みをしていると伺っています。

白井▼「いま我々が注力しているのは、観光や地元農家との連携及び支援による地元農業の活性化です。

観光では、レンタサイクルやサイフィン体験、星空観察など、アクティビティを通して豊橋の自然の素晴らしさを知っていただくことと取り組んでおります。最新のアクティビティとして、電動ミニカー「ネクストクルーザー」によるガイドツアーが人気です。こちらは三河湾国定公園内の表浜海岸にある、NHK朝の連続ドラマ小説「エール」のロケ地やパラグライダーの発射場など、写真映えするスポットをインスタクターによるガイドとともに巡ることで、豊かな自然を満喫しつつ、最高の思い出を作るプログラムだと自負しています。他にはないプログラムですから、おかげさまで遠方から多くの予約をいただいております。若いカップルや友達連れを中心にリピーターも急増中です。今後もグルメやショッピングだけでなく、体験を通して豊橋の魅力を発信していきたいと考えています。

農業が盛んな豊橋ですが、事業継承や休耕地問題などに悩まされる農家が多いため、継続的に農業が営めるように我々ができる範囲内での支援を試みています。例えば、収穫体験をはじめとした農家が参画する共同イベントの開催や農産物の商品開発をサポートさせていただき、商品化へ繋げています。例えば、河合果樹園様の初恋レモンを使用したレモネード、朝倉農園様のトマトを使用した商品など、どれも豊橋を代表する農作物を使用した良い商品ばかりです。そして、実際に開発した商品は施設内の直営店「Terry's」(ティモ)にて販売しており、「豊橋」と「地元農産物」を一緒にPRできるように試みています。この取組により、少しでも農家の利益に貢献でき、継続的な農業の運営の一助となれば幸いです。

先ほど述べたように、我々は豊橋のランドマークとしての機能を目指し、様々な試みを実施しております。そこで、豊橋商工会議所の会員の皆様をはじめ、豊橋の企業様にぜひ道の駅をご活用いただきたいと考えています。こちらは年間200万人以上来場しており、自社商品をPRする場としては非常に最適な場ですし、「豊橋にこんなに素晴らしい

INTERVIEW



道の駅  
とよはし

株式会社 道の駅とよはし  
豊橋市東七根町字一ノ沢113-2  
0532-21-3500

「いま抱えている課題はありますか。」  
白井▼お客様に施設を周遊していただくにはどうするかということ。食彩村は10年以上前に開設した施設ですが、道の駅とよはしの設立以来、認知度が上がり、売上を順調に伸ばしていますので、食彩村へいらっしゃるお客様をto mate (トマテ)へ誘導し、滞在時間を長くすることで販売チャンスを増やして売上を向上させたいと考えています。現在、毎月第1水曜日に開催する「水曜日のマルシェ」などのイベントやキッチンカーを配置するなど、お客様の興味をそそるような仕掛けを作り、誘導できるように取り組んでいます。

「他の道の駅と比較した際、差別化のポイントはありますか？」  
白井▼食彩村を含む道の駅とよはしは、東三河最大級の直売所を有し、乗用車やトラックなど全ての方が気軽に立ち寄れる広いスペースを保有している点に訴求ポイントがあると思います。また昨年度に、国土交通省より「防災道の駅」として選定され、有事の際は同省や豊橋市、自衛隊、警察、消防と連携し、広域的な防災拠点としての機能を果たす点でも特徴的です。今後、策定されたBCPのもと、より各団体との連携を深めつつ、自動車誘導のノウハウを習得するなど、皆様の安全を守るように防災対策をブラッシュアップしていきたいと考えています。

「貴社が描く将来のビジョンを教えてください。」  
白井▼令和6年には隣接する国道23号バイパスが全線開通し、豊橋は名古屋から1時間ほどの商圏に入ります。高速道路を使用せずに名古屋・浜松間を移動できるので、から、通行客が大幅に増加することは容易に考えられ、ここは休憩ポイントとしても非常に好位置にあります。一方、現在、豊川や浜松で新たな道の駅建設の動きがありますので、後発の道の駅が誕生する前に確固たる知名度と地位を確立したいと考えています。この状況を鑑みて、道の駅とよはしは複合施設として機能を拡張し、集客アップを図りたいと考えています。温浴施設やキャンプ場、バーベキュー施設、レジャー施設、ホテルなど、物を販売するだけではなく、幅広い年齢層に喜ばれる機能を多く備え、ここでしか体験できないことを実現し、一日楽しい時間が過ぎるような道の駅を目指していきます。ゆくゆくは客数・人気度ともに日本一になり、全国へ豊橋の自然や農業、生産物の魅力が発信できるよう努めたいと考えています。



ネクストクルーザーツアーガイド  
(三河湾国立公園をめぐる旅)

TENANTS in the FACILITY



豊橋産のトマトで仕上げた「スパイストマトカレー」

まるっと みかわ



季節のフルーツサンド

コッペとサンド オリーブの風



季節のジェラート

ジェラート サンタ



アツアツ焼立てのちくわが味わえる

ヤマサちくわ



豊橋牛(とよはしうし)を使用した逸品

いっしょうめし



店舗売上No.1の豊橋カレーうどん

つるあん

客数・人気度ともに日本一になり、  
全国へ豊橋の自然や農業、生産物の魅力が発信できるよう努めたい。

「新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻など、社会情勢の影響はありましたか。」  
白井▼新型コロナウイルス感染症が流行り始めた頃には、客数が減ったり、令和3年のゴールデンウィークに休業したりと多少の影響がありました。しかし、食彩村は生活用品を取り扱っており、来場者の多くは近隣の住民や運送業の方のため、目立って来場者数が減少することなく、売上も大幅に落ちたことはありませんでした。逆に、今年は3年ぶりに行動制限のない夏を迎え、多くの方が遠出をするようになったため

か、7月の来場者が減り売上は横ばいとなりました。この先どのような動向を見せるか注視しつつ、柔軟に対応したいと考えています。またウクライナ情勢もあり、物価が果てしなく上がっている現状を脅威に感じています。特に、電気代とガス代は徐々に経営に響いているのを実感しています。ただ、我々よりも深刻な影響を受けているのはテナントの皆様でしょう。燃料費に加え、小麦や野菜などの材料費の値上げ、最近のニュースでは最低賃金も30円アップすると見込まれていますが、その割に売価を上げられない



豊橋の素材を生かした3種のクラフトビール  
(大人の初恋レモン・女神のはほえみ・大葉と深呼吸)